



↑施設職員に目玉をもらい、イケメン(?)になった3兄弟

★ ぼんぼこ村で収穫 我らナガナス3兄弟

6月末、平尾地区にあるNPO法人長島福祉作業所 ぼんぼこ村（大堂和枝施設長）で、ちょっと変わった長なすが収穫されました。

収穫されたのは、施設近くにある畑で栽培していた長崎長なす3本。写真のように、立派な鼻を伸ばしています。

栽培を担当していた同施設職員の古田幸平さんが6月中旬、畑の中で実が小さなうちに発見し、「なんでこんな形になるのだろう。このまま大きく育つかな」と思いながら、大事に育てました。

「3兄弟」は順調に育ち、収穫の日を迎えました。施設利用者からは「おもしろい形」「不思議だ」と変わった「顔」の長なすに驚いた様子でした。

★ 原子力災害に備えて 避難計画住民説明会を実施

6月23日と24日の両日、田尻小学校と汐見小学校で長島町地域防災計画に基づく、原子力災害に対する避難計画住民説明会がありました。

会は、九州電力川内原子力発電所から半径30キロ圏内（UPZ）に当たる田尻、火ノ浦、汐見、潟、広野地区の住民や消防団員を対象に行われ、2日間で約110人が参加しました。

県危機管理局原子力安全対策課や町の担当職員が避難についての説明を行い、住民らは真剣な表情で聞き入っていました。



↑県担当者の説明に聞き入る参加者



↑川添健町長に報告する瀬戸上さん（中央）と宇藤さん

★ 九州大会で準優勝 初めての一人舞台上で快挙達成

6月15日、宮崎県で開催された第1回津軽三味線全九州コンクールで、役場景観推進課に勤務する瀬戸上美春さんがシニアの部に出場し、準優勝に輝きました。

三味線を始めて13年。これまで合奏で舞台上に立つことはありましたが、一人で舞台上に立つのは今回が初めてとなった瀬戸上さん。「演奏前は、緊張で心臓が飛び出しそうだった。思ってもいなかった結果で嬉しい」と喜びました。

27日、師匠で正絃流藤心会会主の立石匠絃（しょうげん）と宇藤正行さん（出水市）と川添健町長へ報告しました。